

入 試 要 項

一般入学試験
推薦（第一種）入学試験

桐朋女子高等学校音楽科
（男女共学）

2 0 2 6



目 次

楽器略語・コード表	1
入試に関する問い合わせ先・出願書類提出先	1
一般入学試験 募集要項	2
推薦（第一種）入学試験 募集要項	5
入学試験科目・課題	8
「一般入学試験」	8
「推薦（第一種）入学試験」	13
試験日程表	15
出願書類記入上の諸注意（共通）	16
受験上の注意（共通）	18
練習室の貸出しについて（一般入試）	18
合格発表、入学手続、入学金・授業料等	19
特待生制度および奨学金制度・学生会館	20
交通機関案内図	21

＜ダウンロードする書類等＞

- | | |
|---------------------|---------------------|
| ・一般入学試験志願票 | ・一般入学試験 受験曲目票 |
| ・推薦（第一種）入学試験志願票＊ | ・推薦（第一種）入学試験 受験曲目票＊ |
| ・伴奏譜提出票 | ・桐朋学園音楽部門奨学金申請書 |
| ・受験証、出願書類送付先票（貼付用） | ・桐朋学園音楽部門学生会館入居願 |
| ・推薦書（出身学校用）（実技教員用）＊ | |

＊印の書類は、推薦（第一種）用の書類

＜用意するもの＞

- ・レターパックライト（ダウンロードした出願書類送付先票を、宛先欄に貼付する。）
- ・一般入試用受験証返送用封筒
（長3サイズの封筒に410円分〔110円+速達料金300円〕の切手を貼付し出願書類に同封する。）
※志願者本人が受け取る住所を記入し、志願者名を「様」書きにて記入、封筒右下に「専門実技」を記入すること。
- ・写真2枚（背景なし、正面上半身脱帽、3カ月以内に撮影したもの、タテ4cm×ヨコ3cm、写真裏面に氏名を書くこと。）

出願には、以下のSTEP 1～3の全ての手続きが必要となります。

STEP 1 出願書類のダウンロード

STEP 2 入学検定料納入

STEP 3 出願書類・入学検定料振込明細の郵送

楽器略語・コード表

専門実技		楽器略語	コード	
ピアノ		Pf	01	
弦楽器	ヴァイオリン	Vl	11	
	ヴィオラ	Va	12	
	チェロ	Vc	13	
	コントラバス	Cb	14	
管楽器	木管	フルート	Fl	21
		オーボエ	Ob	22
		クラリネット	Cl	23
		ファゴット	Fg	24
		サクソフォン	Sx	25
	金管	トランペット	Tp	31
		テノール・トロンボーン	TT	32
		バス・トロンボーン	BT	33
		ユーフォニウム	Eu	34
		チューバ	Tu	35
		ホルン	Hr	36
打楽器	パーカッション	Pc	41	
	マリンバ	Ma	42	
ハープ		Hp	51	
声楽	女声	Vf	71	
	男声	Vm	72	
作曲	作曲	Co	81	

入試に関する問い合わせ先・出願書類提出先

〒182-8510 東京都調布市若葉町1-41-1

桐朋女子高等学校音楽科 事務局入試係

電話:03-3307-4122(直通) メール:exam@tohomusic.ac.jp

問い合わせ時間:月～金:午前9時～午後4時

(祝日や長期休暇期間中の、事務局閉室日は対応できません。)

一般入学試験 募集要項

募集人員

第1学年 90名

（ピアノ専門、弦楽器専門、管楽器専門、打楽器専門、ハープ専門、声楽専門、作曲専門〈大学進学時に指揮専攻を希望する者を含む〉）

出願資格

以下の条件のいずれかを満たす者

1. 中学校を卒業した者、または、2026年3月に卒業見込みの者
2. 外国において、学校教育における9年の課程を修了した者
3. 本校において、中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者
4. 中学校卒業程度認定試験合格者（「合格証明書」と「合格成績証明書」を提出すること。免除科目がある場合は、その科目の「証明書類」も併せて提出すること）。

選考方法

選考は試験（一般学科、専門科目、専門実技）および調査書等による。

※第2志望も出願した場合、志望順位にかかわらず、それぞれの専門で選考を行い、第1、第2志望とも合格した場合は、第1志望の専門で合格とし、いずれか一方のみに合格した場合は、その志望で合格とする。

受験方法

次のうち、いずれかの方法を選び受験する。

1. 専門実技第1志望のみを受験する。
2. 専門実技第2志望も受験する。

〔注〕出願後の変更は認めない。

試験日程

2026年2月10日（火）～2月12日（木）（P.15参照）

※インフルエンザや新型コロナウイルス感染症等「学校において予防すべき感染症」に罹患した場合は、すぐに入試係までご連絡ください。

試験会場

桐朋学園音楽部門 仙川キャンパス（P.21参照）

出願期間・方法

次の出願手続きにより、レターパックに出願書類を同封して期限までに送付すること。

1. 出願申請受付の流れ

① 出願書類ダウンロード開始日	2025年10月1日（水）
② 入学検定料納入期間	2026年1月19日（月）9時～1月29日（木）23時59分
③ 出願書類郵送期間	2026年1月26日（月）～1月30日（金） 郵送必着

申請者は以下の手続きにより出願すること。

STEP 1 出願書類のダウンロード

- ① 以下のURLより「WEB出願申請準備」を行う。（10月1日から公開）
 ＜2026年度 桐朋女子高等学校（音楽科）入試 WEB出願申請準備＞
 URL: <https://www.secure-cloud.jp/sf/1601437612lENcDDyY>
- ② 「sf@secure-cloud.jp」より受付完了メールを確認する。
- ③ メールに記載されたURLより「出願書類」を確認する。
- ④ 必要書類をダウンロードし、印刷し、記入する。



※受付完了メールを受信できるよう事前に@secure-cloud.jpのドメイン解除設定を行うこと。

利用する携帯キャリアにより迷惑メールに振り分けられる場合があるので確認すること。

※また、その後の連絡用に@tohomusic.ac.jpのドメイン解除設定も行うこと。

STEP 2 入学検定料納入

出願期間内に振込み手続きを行う。（「2.入学検定料納入方法」を参照）

※入試区分によって納入コードが異なるので注意

STEP 3 出願書類・入学検定料振込明細の郵送

出願書類及びSTEP2で入学検定料を振り込んだことが確認できる書類をレターパックライトに同封して郵送する。

2. 入学検定料納入方法

入学検定料 52,500円

〔注〕専門実技第2志望も受験する場合……73,500円

振込先	みずほ銀行調布支店 当座9778 三菱UFJ銀行仙川支店 当座49612 三井住友銀行国領支店 当座1015159
振込先口座名義	学校法人桐朋学園音楽科 [ガク)トウホウガクエンオンガクカ]
注意事項	※振込の際、 振込人名義は「 受験者名 」とし、名前の前に「 3014 」と加えること。 (例: 3014 トウホウ タロウ) ※納入された入学検定料は返還しない。

3. 出願書類

出願書類は上記 STEP 1によりテンプレートをダウンロード、印刷して記入すること。

書類提出はレターパックライトにて郵送のこと。

出願書類がレターパックに入らないサイズの場合は、簡易書留での郵送も可とする。

a) 志願票・受験曲目票

記入方法については、P.16～17参照。

b) 受験証(写真貼付)

必要事項を記入し、所定の枠に合わせて写真を貼付する。その際、写真裏面に氏名を書く。

(正面上半身脱帽、背景のないもの、3カ月以内に撮影したもの、タテ4cm×ヨコ3cm)

c) 出身学校調査書

中学校長が作成したもの。(出願前3カ月以内に発行されたもの)

以下に掲載されている、東京私立中学高等学校協会指定の標準様式により作成する。

<https://www.tokyoshigaku.com/download.html>

[注]中学校卒業・卒業見込み以外の者は、それに相当する修了(見込)証明書と成績証明書を提出する。

d) 受験証返送用封筒

長3サイズ封筒を準備し、志願者本人が受け取る住所を記入し、志願者名を「様」書きにて記入する。封筒右下に専門実技を記入し、410円分(110円+速達料金300円)の切手を貼付する。

e) 伴奏譜(コピー譜可)

弦楽器、管楽器、打楽器、声楽の各受験生が提出する。ただし、無伴奏曲で受験する者を除く。各伴奏楽譜の表紙に「伴奏譜提出票」を貼付する。コピー譜の場合は、伴奏者が演奏しやすいように屏風綴に体裁を整える等、配慮のうえ提出する。(P.17参照)

f) (任意) 桐朋学園音楽部門学生会館入居願

入居を希望する者のみ提出する。

g) (任意) 桐朋学園音楽部門奨学金申請書

受給希望者は「桐朋学園音楽部門奨学金申請書」を別封筒(各自で用意)に入れ、表面に「奨学金関係書類在中」と朱書きし、出願書類に同封する。

h) 振込証憑書類

ATMのご利用明細書のコピー、ネットバンキングでの振込後の画面を印刷したもの等入学検定料を振り込んだことが確認できる書類を同封する。

合格発表・入学手続等

P.19 を参照。

推薦（第一種）入学試験 募集要項

募集人員

第1学年 10名

（管楽器専門、打楽器専門、ハープ専門、声楽専門、作曲専門〈大学進学時に指揮専攻を希望する者を含む〉）

出願資格

以下の条件を満たす者

1. 中学校を2026年3月卒業見込みの者で、本校を専願する者
2. 専門として志願する楽器等演奏に関して優れた能力を有し、かつその学修に積極的な意欲をもつ者
3. 出身学校長が責任をもって推薦する、9教科の5段階評定の合計が27以上、または5教科（国語・社会・数学・理科・英語）の5段階評定の合計が15以上の者。
基準となる成績は、中学校1年から3年の前期または2学期までの成績とする。
4. 実技指導教員等が責任をもって推薦する者。

選考方法

選考は試験（専門科目、専門実技、面接）および調査書による。

試験日程

2026年1月22日（木） ＜伴奏合わせを含めてすべて1日で行う＞

※インフルエンザや新型コロナウイルス感染症等「学校において予防すべき感染症」に罹患した場合は、すぐに入試係までご連絡ください。

試験会場

桐朋学園音楽部門 仙川キャンパス(P.21参照)

出願期間・方法

次の出願手続きにより、レターパックに出願書類を同封して期限までに送付すること。

1. 出願申請受付の流れ

P.3 を参照。以下の手続きを行うこと。

STEP1: 出願書類のダウンロード、

STEP2: 入学検定料納入、

STEP3: 出願書類・入学検定料振込明細の郵送

① 出願書類ダウンロード開始日	2025年10月1日（水）
② 入学検定料納入期限	2026年1月5日（月）9時～1月15日（木）23時59分
③ 出願書類郵送期限	2026年1月16日（金）郵送必着

2. 入学検定料納入方法

入学検定料 52,500円

振込先	みずほ銀行調布支店 当座9778 三菱UFJ銀行仙川支店 当座49612 三井住友銀行国領支店 当座1015159
振込先口座名義	学校法人桐朋学園音楽科 [ガク)トウホウガクエンオンガクカ]
注意事項	※振込の際、 振込人名義は「 受験者名 」とし、名前の前に「 3012 」と加えること。 (例: 3012 トウホウ タロウ) ※納入された入学検定料は返還しない。

3. 出願書類

書類提出はレターパックにて郵送のこと。

出願書類がレターパックに入らないサイズの場合は、簡易書留での郵送も可とする。

a) 志願票・受験曲目票

記入方法については、P.16～17参照。

b) 受験証(写真貼付)

必要事項を記入し、所定の枠に合わせて写真を貼付する。その際、写真裏面に氏名を書く。
(正面上半身脱帽、背景のないもの、3カ月以内に撮影したもの、タテ4cm×ヨコ3cm)

c) 出身学校調査書

中学校長が作成したもの。(出願前3カ月以内に発行されたもの)

以下に掲載されている、東京私立中学高等学校協会指定の標準様式により作成する。

<https://www.tokyoshigaku.com/download.html>

d) 推薦書

①学校長が作成する「推薦書」(指定書式－出身学校調査書に同封する)

②実技指導教員等が作成する「推薦書」(指定書式)

以上2通を提出する。

e) 伴奏譜(コピー譜可)

管楽器、打楽器、声楽の各受験生が提出する。ただし、無伴奏曲で受験する者を除く。各伴奏譜の表紙に「伴奏譜提出票」を貼付する。コピー譜の場合は、伴奏者が演奏しやすいように屏風綴に体裁を整える等、配慮のうえ提出する。(P.17参照)

f) (任意) 桐朋学園音楽部門学生会館入居願

入居を希望する者のみ提出する。

g) (任意) 桐朋学園音楽部門奨学金申請書

受給希望者は「桐朋学園音楽部門奨学金申請書」を別封筒(各自で用意)に入れ、表面に「奨学金関係書類在中」と朱書きし、出願書類に同封する。

h) 振込証憑書類

ATMの利用明細書のコピー、ネットバンキングでの振込後の画面を印刷したもの等入学検定料を振り込みしたことが分かる書類

出願手続後について

1. 受験証は1月22日(試験当日)に交付する。
2. 1月22日の試験日程詳細は、1月20日までに受験生にメールにて連絡する予定。
志願票には、メールアドレス(PDFファイルが参照可能なアドレス)を記入のこと。

合格発表・入学手続等

P.19 を参照。

入学試験科目・課題

「一般入学試験」

<試験科目>

I. 一般学科	「国語」「英語」「数学」 1時間30分で3教科を解答する。辞書を使用することはできない。
II. 専門科目	1. 楽典 （1時間） 2. 新曲視唱 （原則として固定ド唱法を用いるが、移動ド唱法を用いてもよい。） 3. 聴音 （1時間） A) 旋律の書き取り B) 和音および和声の書き取り 【課題の内容・難易度は過年度入試問題集を参照のこと】 4. 副科ピアノ実技 （ピアノ・作曲専門志願者を除く。） 課題については下記参照。
III. 専門実技	各専門実技課題については下記参照。

<副科ピアノ実技試験課題>

課題 自由曲 1曲……ソナチネ・アルバム程度以上（暗譜で演奏する）

<専門実技試験課題>

ピ ア ノ

以下の(1)と(2)を暗譜で演奏する。

- (1) 自由曲（5分から10分程度とする）
- (2) 下記 a) b) を演奏する。（演奏する順序は自由）
 - a) Bach: Das Wohltemperierte Klavier 第Ⅰ巻または第Ⅱ巻より任意の1曲を演奏する。
 - b) Moszkowski: 15 Etudes op.72
Chopin: Etudes op.10、op.25（op.10-6、op.25-7 は除く）
3 Nouvelles Etudes（3つの新しい練習曲）
上記の練習曲から、任意の2曲を演奏する。

※当日、演奏をカットすることもある。

※試験は、(1)と(2)に分けて行う。

弦 楽 器**a) ヴァイオリン**

以下の(1)と(2)を暗譜で演奏する。

(1) 以下の課題曲から1曲を演奏する。

演奏曲は2月10日(火)午前9時30分に本校仙川キャンパスS館1階の掲示板に発表する。

1. J.S.Bach : 無伴奏ヴァイオリンパルティータ 第1番 BWV1002より サラバンド
(Doubleはなし) ※繰り返しなし
2. Wieniawski : 新しい手法(L'ecole moderne) 作品10より第5番「Alla saltarella」

(2) 以下のコンチェルトから任意の1曲

(第1楽章または終楽章または指定された箇所。※Mozartに限り、第1楽章)

1. Bruch : 第1番 g-moll
2. Ernst : fis-moll op.23(独奏部分から第237小節まで)
3. Goldmark : a-moll op.28
4. Lalo : スペイン交響曲
5. Mendelssohn : e-moll
6. Mozart : 第3番 G-dur(カデンツァ付き)
7. Mozart : 第4番 D-dur(カデンツァ付き)
8. Mozart : 第5番 A-dur(カデンツァ付き)
9. Saint-Saëns : 第3番 h-moll
10. Vieuxtemps : 第2番 fis-moll
11. Vieuxtemps : 第4番 d-moll
12. Vieuxtemps : 第5番 a-moll(アダージョの前まで)
13. Wieniawski : 第2番 d-moll
14. Sibelius : d-moll
15. Tchaikovsky : D-dur
16. Dvořák : a-moll

b) ヴィオラ

以下の(1)と(2)を暗譜で演奏する。

(1) 以下の練習曲の中から1曲

1. Hoffmeister : Etude
2. Campagnoli : Caprice

(2) 任意のコンチェルトより第1楽章 または 終楽章

c) チェロ

以下の(1)、(2)、(3)の順に暗譜で演奏する。尚、演奏の途中でカットする場合がある。

(1) 以下のすべてを演奏する。

- | | | | |
|----------|--------|------|--------------|
| スケール | 4オクターブ | 一弓8音 | C-durとa-moll |
| アルペジオ | 4オクターブ | 一弓3音 | C-dur |
| 8度のオクターブ | 2オクターブ | 一弓2音 | C-dur |

(2) 任意のエチュード

(3) 任意のコンチェルト、コンチェルティーノ、コンチェルトシウトウツクの第1楽章または終楽章。

あるいは前古典派またはバロックのソナタの急速楽章と緩徐楽章。

上記の課題以外の条件で受験を希望する者は、出願時に当人の実技指導教員による理由書を願書に添付し提出すれば、受験することができる。

d) コントラバス

以下を暗譜で演奏する。

任意の曲またはエチュード

管 楽 器

a) フルート

以下の(1)と(2)よりそれぞれ任意の1曲を演奏する。

- (1) G.Gariboldi: 20 Etudes Chantantes op.88より No.2、No.4、No.10
- (2) E.Köhler: フルート演奏の上達 op.33 第1巻より No.2、No.4、No.6(版は問わない)

b) オーボエ

以下の(1)と(2)を演奏する。暗譜で演奏するか否かは自由とし、繰り返しは省略する。

- (1) W.Ferling: 48 Etudes (Pierre Pierlot版)より No.5、6、9、10、14、17、18、19、20、24、27、35の中から任意の1曲
- (2) J.B.Loeillet: Sonata in C major より 第1、2楽章

c) クラリネット

以下の(1)と(2)を演奏する。暗譜で演奏するか否かは自由とし、繰り返しは省略する。

- (1) C.Rose: 26 Etudes (Leduc社版)
奇数及び偶数番号より各1曲、計2曲を選択し、演奏する。
- (2) 自由曲 1曲

d) ファゴット

以下の3曲を演奏する。暗譜で演奏するか否かは自由とし、繰り返しは省略する。

- Julius Weissenborn: Bassoon Studies for Beginners op.8 Vol. I (Heft I)より
- (1) I C. Staccato No.5
- (2) I D. Portamento No.3
- (3) I E. Forte, Piano, Crescendo and Diminuendo No.4

e) サクソフォン

以下の(1)と(2)を演奏する。暗譜で演奏するか否かは自由とし、繰り返しは省略する。

- (1) Blémant: 20 Études Mélodiques (Leduc社版)
No.9のはじめから複縦線(はじめの1ページ)まで
- (2) 任意の楽曲を1曲。(10分程度、サクソフォンのためのオリジナル作品に限る)

f) トランペット

以下の課題を演奏する。暗譜で演奏するか否か、および繰り返しは自由とする。

自由曲 1曲

g) テノール・トロンボーン

以下の(1)と(2)を演奏する。暗譜で演奏するか否かは自由とし、繰り返しは省略する。

- (1) C.Kopprasch: 60 Etudes for Trombone No.5、11、18、22より任意の1曲(版は指定しない)
- (2) 自由曲 1曲

h) バス・トロンボーン

以下の(1)と(2)を演奏する。暗譜で演奏するか否かは自由とし、繰り返しは省略する。

- (1) O.Blume: 36 Studies for Trombone with F Attachment
No.1b、1d、2、3、6より任意の1曲(Carl Fischer社版)
- (2) 自由曲 1曲

i) ユーフォニウム

以下の曲を演奏する。暗譜で演奏するか否かは自由とし、繰り返しは省略する。

C.Kopprasch:60 Etudes for Trombone No.12、18(全音楽譜出版社版)

j) テューバ

以下の曲を演奏する。暗譜で演奏するか否かは自由とし、繰り返しは省略する。

C.Kopprasch:60 Selected Etudes for Tubaより No.4(Robert King社版)

k) ホルン

以下の(1)と(2)を演奏する。暗譜で演奏するか否かは自由とし、繰り返しは省略する。

(1) Maxime-Alphonse: 第1巻 No.3、4(Leduc社版)の中から任意の1曲

(2) 自由曲 1曲(8分以内、カット演奏も可)

打 楽 器 （本校の楽器を使用）

以下の(1)、(2)、(3)を演奏する。暗譜で演奏するか否かは自由とする。

a) パーカッション

(1) 小太鼓 Modern School for Snare Drum より

STUDY IN EIGHTH NOTES II 4/4 Moderato (P.7)

(2) マリンバによるスケールとアルペジオ(下記<譜例>参照)

G-dur 又は F-dur のどちらかを当日指定する。

(3) 自由曲 8分以内(カット演奏も可)

b) マリンバ

(1) 小太鼓 Modern School for Snare Drum より

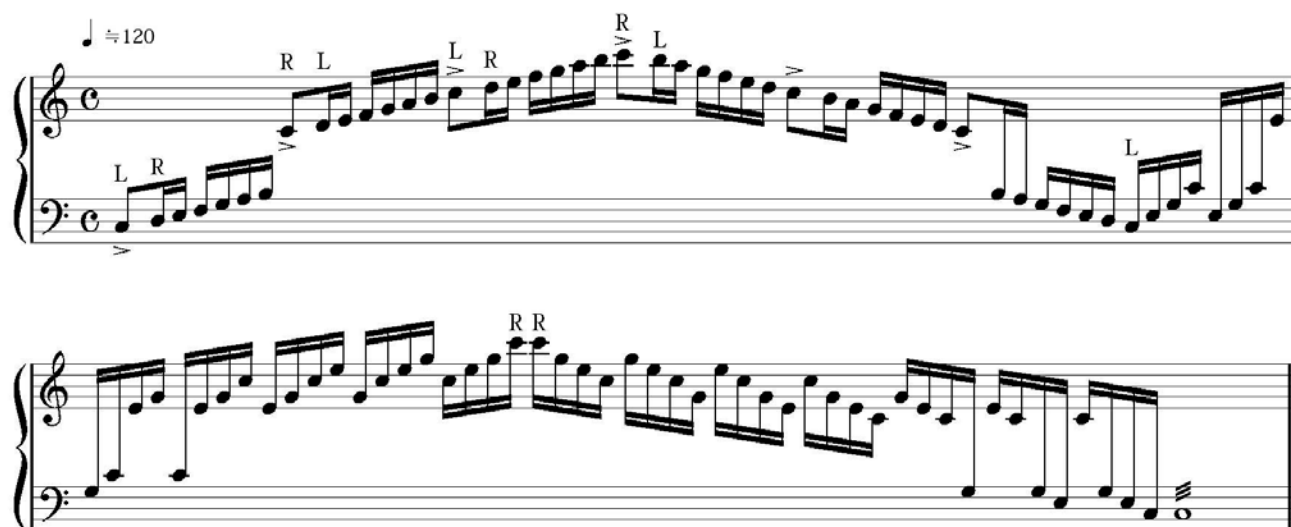
STUDY IN EIGHTH NOTES II 4/4 Moderato (P.7)

(2) マリンバによるスケールとアルペジオ(下記<譜例>参照)

G-dur 又は F-dur のどちらかを当日指定する。

(3) 自由曲 8分以内(カット演奏も可)

< 譜 例 >



ハ ー プ

以下の(1)、(2)、(3)を暗譜で演奏する。

- (1) 変ホ長調のスケール・アルペジオ・和音
- (2) J.F.Naderrmann: 24のプレリュードより2曲
- (3) 自由曲 1曲（無伴奏とする）

声 楽

以下の課題を暗譜で演奏する。

コンコーネ50番 op.9 から2曲を母音で演奏する。（調性を明記すること）

ただし、そのうち1曲はイタリア古典歌曲にかえることができる。その場合は、曲名を原語で書き、調性を明記すること。

※出願書類とともに提出する受験曲2曲の伴奏譜は各自でコピーして準備し、それぞれ「伴奏譜提出票」を貼付する。
「伴奏譜提出票」については、P.17参照。

作 曲

- (1) 和声 ソプラノ課題、バス課題 各1題（ピアノ使用不可、計3時間）
- (2) 与えられたモチーフによる任意の楽曲作曲（ピアノ使用可、3時間）
- (3) 理論ピアノ
 - ① J.S.Bach: 2声のインヴェンション、または3声シンフォニアから任意の1曲
 - ② 自由曲 1曲: ①と合わせて15分以内の楽曲とすること。※①、②ともに暗譜で演奏すること。
 - ③ 新曲初見演奏 1曲（予見時間5分）
- (4) 専門実技に関する面接

「推薦（第一種）入学試験」

<試験科目>

I. 専門科目	1. 楽典（1時間） 2. 新曲視唱 3. 聴音（1時間） 4. 副科ピアノ実技（作曲専門志願者を除く） 課題については下記参照。
II. 専門実技	各専門実技課題については下記参照。（作曲専門は楽器演奏を課す）
III. 面接	

<副科ピアノ実技試験課題>

課題 自由曲 1曲……ソナチネ・アルバム程度以上（暗譜で演奏する）

<専門実技試験課題>

管 楽 器

a) フルート

一般入学試験に同じ（P.10）

b) オーボエ

一般入学試験に同じ（P.10）

c) クラリネット

一般入学試験に同じ（P.10）

d) ファゴット

一般入学試験に同じ（P.10）

e) サクソフォン

一般入学試験に同じ（P.10）

f) トランペット

一般入学試験に同じ（P.10）

g) テノール・トロンボーン

一般入学試験に同じ（P.10）

h) バス・トロンボーン

一般入学試験に同じ（P.10）

i) ユーフォonium

一般入学試験に同じ(P.11)

j) テューバ

一般入学試験に同じ(P.11)

k) ホルン

一般入学試験に同じ(P.11)

打 楽 器

a) パーカッション

一般入学試験に同じ(P.11)

b) マリンバ

一般入学試験に同じ(P.11)

ハ ー プ

一般入学試験に同じ(P.12)

声 楽

一般入学試験に同じ(P.12)

作 曲

(1) 作曲作品の提出（出願手続きの際、出願書類とともに提出すること）

- ・作曲作品は途中のものでも可。
- ・作曲作品がない場合、実施した和声課題（ノート等）を提出することもできる。
- ・作曲作品と和声課題は、両方または複数提出しても構わない。

(2) 専門実技に関する面接

- ・面接時には本校が設置している専門の楽器による演奏（8分以内の自由曲）が課される。

試験日程表

＊「一般入学試験」の専門実技試験（伴奏合わせを含む）受験順番・集合時刻等は2月9日（月）15時に発表する。

・本校仙川キャンパスS館1階に掲示発表

・本校ホームページへの掲載(PDFファイル)

＊インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症等「学校において予防すべき感染症」に罹患した場合は、入試係へすぐに連絡すること。

桐朋女子高等学校音楽科 事務局入試係 電話 03-3307-4122

	推薦（第一種）入学試験	一般入学試験		
専門実技	1月22日（木）	2月10日（火）	2月11日（水）	2月12日（木）
ピアノ			9:30～ 実 技	9:30～10:30 楽典試験
弦（Vl,Va）		10:00～ 副科ピアノ ＊伴奏合わせ	10:00～ 実 技	
弦（Vc,Cb）		10:00～ 副科ピアノ ＊伴奏合わせ	15:30～ 実 技	
管楽器	試験科目すべて ※予定等については、 1月20日までに受験 生にメールにて連絡す る予定。 志願票には、メールア ドレス（PDFファイルが 参照可能なアドレス） を記入のこと。	10:00～ 副科ピアノ ＊伴奏合わせ	13:00～ 実 技	11:00～12:00 聴音試験
打楽器		10:00～ 副科ピアノ ＊伴奏合わせ	13:00～ 実 技	13:00～14:30 一般学科試験
ハープ		10:00～ 副科ピアノ	13:00～ 実 技	
声楽		10:00～ 副科ピアノ ＊伴奏合わせ	16:00～ 実 技	15:00～ 新曲視唱試験
作曲		9:00～12:00 作曲実技「和声」 13:00～16:00 「モチーフ」	13:00～ 理論ピアノ、 専門実技に関する 面接 （理論ピアノ終了後 引き続き）	

出願書類記入上の諸注意（共通）

※ダウンロードした出願書類は、A4サイズで印刷すること。

◎ ☐ で囲まれた項目を自筆で正確に記入する。

◎推薦（第一種）入学志願者は「推薦（第一種）入学試験志願票」を使用すること。

志願票

1. 「楽器略語・コード」…………… P.1の「楽器略語・コード表」に従って記入する。
一般入学試験で第2志望も受験する場合は第2志望の「楽器略語・コード」も記入する。
2. 「受付番号」(※印欄)…… 記入しない。
3. 「氏名」…………… 戸籍名を楷書で記入する。姓と名に分け、フリガナをふる。外国籍の場合はアルファベット名を併記する。
4. 「性別」…………… 女、男を○で囲む(任意)。
5. 「生年月日(西暦)」…… 西暦で年月日を記入する。
6. 「保証人」…………… 緊急時には保証人に連絡をとる場合もある。住所、氏名、続柄、電話番号、メールアドレスを明記する。
7. 「受験者連絡先(携帯)」… 緊急連絡で使うことがある。所持している場合は明記する。
8. 「受験期間中の居所」…… 宿泊先の名称と電話番号を記入する。志願票提出時に決まっていなかった場合、また志願票提出後に変更があった場合は、決まり次第届け出る。保証人の欄と同じ場合は「同上」と記入する。
9. 「出身学校」…………… 所在地、電話番号、学校名を記入する。
10. 「出願資格」…………… 該当する番号を○で囲む。卒業・卒業見込みまたは修了した年を西暦で記入する。
11. 「写真」…………… 背景なし、正面上半身脱帽、3カ月以内に撮影したもの、タテ4cm×ヨコ3cm、写真裏面に氏名を書くこと。
12. 「学生会館申請」…………… 入居を希望する者は申請欄に○を記入する。
13. 「奨学金申請」…………… 奨学金を申請する者は申請欄に○を記入する。
14. (一般のみ)「楽器の使用希望」(コントラバス専門生のみ)
……………自分の楽器を使用する場合は「1. なし」の数字を○で囲む。
……………本校の楽器を使用する場合は「2. あり」の数字を○で囲む。
15. (一般のみ)「特別練習の希望」(特殊楽器専門生のみ)
……………コントラバス、パーカッション、マリンバ、ハープの志願者のうち、入試期間中に本校での専門楽器練習を希望する者は、「2. あり」の数字を○で囲む。
……………希望しない場合は、「1. なし」の数字を○で囲む。(一般入学試験のみ。推薦入試はなし。)
16. 「障がいおよび配慮希望の有無・内容」
……………障がいがある場合は診断名および配慮希望の有無、内容を記入すること。
……………※任意。別紙可、可否には一切関わらない。
17. 「入学後の実技担当希望教員名」
……………本校において決定するが、希望がある場合は、実技担当希望教員名を記入する。ただし、希望通りにならない場合もある。

受験曲目票

1. 「楽器略語・コード」、「氏名」……志願票と同様に記入する。
2. 「伴奏」
伴奏がつく楽曲の場合……『あり』を○で囲む。
伴奏がつかない楽曲の場合……『なし』を○で囲む。
3. 演奏する曲目の内、自由曲、任意の曲については所定の箇所に具体的かつ詳細に記入する。
ヴァイオリンの課題(2)については、指定された曲目の内、選択する曲目（作曲者）の番号と楽章を○で囲む。
ヴィオラの課題(1)については、指定された曲目の内、選択する曲目（作曲者）の番号を○で囲む。
クラリネットの課題(1)については、所定の欄に選択した2曲の課題番号を記入する。
4. 第2志望がある場合は、第2志望についても記入する。
5. 「副科ピアノ」は、作曲者・曲目・調性・作品番号・楽章等を詳細に記入する。
6. 出願後の受験曲目等の変更は、認めない。

伴奏譜提出票

1. 「区分」……「高校」と記入する。
2. 「※受付番号」……何も記入しない。
3. 伴奏譜の表紙に貼り付ける。伴奏譜が複数ある場合は、各自で「伴奏譜提出票」を複製して楽譜ごとに貼付する。

※ 伴奏譜等がレターパックライトに入らない場合、各自で用意した封筒を使用して簡易書留郵便での送付も可とする。その場合は封筒に「出願書類提出」と朱記すること。

受験上の注意（共通）

1. 出願者に、本校から別途、受験にあたっての詳細が記載されている『受験心得』を配付する。
2. 一般入学試験志願者は、2月9日（月）15時に校内掲示およびホームページで発表する指定の時刻・場所に集合する。電話での問い合わせには応じない。推薦（第一種）入学試験についてはP.15参照。
3. 自分の演奏曲の楽譜（必要な場合）、受験証、筆記用具、昼食（試験が昼食時間におよぶ場合）を持参する。**受験証を持たない者は試験場に入場できない。**
4. 一般入学試験受験者で第2志望がある場合は、特に記さない限り、各専門実技と併せて第1・第2志望双方の専門科目を受験しなければならない。例えば、ピアノを第1志望・管楽器を第2志望として出願した者は、ピアノ及び管楽器の専門実技試験を受験するとともに、副科ピアノも受験しなければならない。出願後の志望順位の変更は認めない。
5. 伴奏付きの楽曲は、無伴奏で演奏してはならない（特に、指定のある場合を除く）。
6. 伴奏者は本校で準備する。伴奏譜は、出願時に「伴奏譜提出票」を貼付して提出すること。
なお、一般入学試験の伴奏合わせは2月10日（火）に行う。（詳細は『受験心得』を参照すること）。
7. 楽器の使用について
 - 1) ピアノ、小太鼓、マリンバ、ハープ以外は各自楽器を持参して使用する。
 - 2) コントラバスは、本校または自分が所有する楽器のいずれを使用してもよい。
本校の楽器を使用する場合は、「出願書類記入上の諸注意」(P.16)の「14. 楽器の使用希望」に従い申し込む。
 - 3) コントラバス、パーカッション、マリンバ、ハープの受験生には希望により他の志願者とは異なる方法で練習室を貸し出す。「出願書類記入上の諸注意」(P.16)の「15. 特別練習の希望」を参照。
該当する出願者に別途連絡する。
8. 受験を取りやめる場合は、本校まで必ず連絡すること。
9. 服装については、特に指定しない。

練習室の貸出しについて（一般入試）

申込方法：受付日の当日午後と翌日早朝の分について、それぞれ1時間単位で申し込める。
詳細については、出願者に交付する『受験心得』を参照すること。

受付日時		使用できる日にち・時間帯	
2/9(月)	15:00～16:00	2/9 (月) 17:00～20:00	2/10(火) 7:00～8:00
2/10(火)	8:30～16:00	2/10 (火) 17:00～20:00	2/11(水) 7:00～8:00
2/11(水)	8:30～16:00	2/11 (水) 17:00～20:00	2/12(木) 7:00～8:00
2/12(木)	受付はありません		

推薦入試については本校が指定する実技試験直前練習以外には練習室の貸出しは行わない。

合格発表、入学手続、入学金・授業料等

合格発表

発表日	推薦(第一種)入学試験……………	2026年1月22日(木)	19時予定
	一般入学試験……………	2026年2月13日(金)	16時予定
発表方法	(1)校内掲示(仙川キャンパス S館1階) (2)本校のホームページ(合格者の「受付番号」を発表)		
書類の交付	合格者には入学手続書類(合格者心得)を合格発表と同日に速達で郵送		

入学手続

手続締切日	推薦(第一種)入学試験合格者…	2026年1月30日(金)	[必着]
	一般入学試験合格者……………	2026年2月26日(木)	[必着]

※締切日までに手続を完了しない場合は、入学資格を失う。

※ただし、一般入学試験において併願する国公立高校の合格発表が2月26日以降の場合は、出願時に申し出ること。申し出があり認められた場合は、入学手続の延期を認める。

提出書類等	(1)身元保証書(本校が指定する用紙)
	(2)住民票または住民票記載事項証明書 (マイナンバーは不要。入学する本人のみ記載のもの、本籍の記載も必要)
	(3)写真(タテ4cm×ヨコ3cm)1枚
	(4)「入学手続納付金払込用紙」の副票
	(5)誓約書(本校が指定する用紙)
	(6)預金口座振替依頼書
	(7)保健調査票(予防接種歴確認書)
	(8)著作隣接権等の取り扱いに関する同意書 他

※入学手続の詳細は『合格者心得』で通知する。

※手続を完了した者には、入学許可証を交付する。

入学金・授業料等(2026年度予定)

入学金	200,000円	*1	教育充実費	年額	300,000円	*2
			施設拡充費	年額	127,600円	*2
			授業料	年額	820,800円	[月額 68,400円]*3*7
			教材費	年額	10,800円	[月額 900円]*3
			保健費	年額	3,000円	[月額 250円]*3
			生徒会費	年額	2,400円	*4
			共済掛金・クラス活動費	年額	1,800円	*5
			初年度諸経費		1,000円	*6

*1. 入学手続時には、入学金のみを納入する。桐朋中学校及び桐朋女子中学校からの進学者は入学金100,000円とする。

*2. 教育充実費300,000円、施設拡充費127,600円は、毎年度4月に納入する。

*3. 授業料等は入学後、原則として毎月26日に指定の銀行口座から自動振替にて納入する。

*4. 生徒会費は4月に前期分1,200円、10月に後期分1,200円を納入する。

*5. 共済掛金・クラス活動費は4月に前期分900円、10月に後期分900円を納入する。

*6. 初年度諸経費は4月に1,000円を納入する。(1年生時のみ)

*7. 授業料のほか以下のような受講料が発生することがある。

外国人講師等の特別レッスン1万円程度(外国人講師による)、
選択副科受講料 96,000円(副科声楽 66,000円)、室内楽・二台ピアノ受講料 50,000円

[注]経済情勢の変動等に応じて次年度以降の校納金については改定があり得る。

特待生制度および奨学金制度・学生会館

特待生制度

入学試験または所定の学内試験で、専門実技の成績が極めて優秀であると認められた生徒は、「特待生」として入学金・教育充実費・授業料などを一部または全額免除する。申請は不要。
なお、毎年選考を行う。

奨学金制度

成績優秀者または経済的な理由により就学が困難な高校生を対象とする、各種の奨学金制度がある。

1. 本学独自の奨学金制度〔給付〕

◎桐朋学園音楽部門奨学金

向学心を持ちつつも、経済的理由で就学が困難な生徒を対象とする。
1年ごとに選考を行い、授業料の1割から10割を年1回(10月)給付する。
原則として、日本学生支援機構奨学金(第一種)の算出基準に準拠し、実状を考慮して決定する。

申請方法: 入学前と入学後の申請がある。

①入学前の申請

入試要項添付の申請書に必要事項を記入、書類を添付のうえ入学試験志願票とともに提出する。
給付の可否についての審査結果は、2026年2月20日頃(予定)に郵送する。
採用者には、入学後、奨学金運営委員会による面接が7月中旬に実施される。

②入学後の申請

在学生を対象とする募集要項は、4月末にポータルサイト(学内専用連絡サイト)へ掲載する。入学前に申請した者も、再度申請することができる。

◎桐朋学園音楽部門特別奨学金

成績の特に秀でた生徒・学生に対し、給付される。

◎桐朋学園音楽部門芸術教育整備・拡充資金及び奨学基金奨学金

当該年度の入学試験で、秀抜なる成績を得た生徒・学生に給付される。

2. その他の奨学金 等

◎各都道府県・地方公共団体奨学金

保護者の居住地があることを条件とし奨学金を貸与、申込方法・条件・内容等は各都道府県によって異なる。

都道府県奨学金 問い合わせ先一覧:

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/mushouka/detail/1353842.htm

◎企業、交通遺児育英会等の奨学金

企業・交通遺児育英会など民間団体の主管する奨学金(貸与型・給付型など)。

◎国の教育ローン(日本政策金融公庫が取り扱う公的な融資制度)

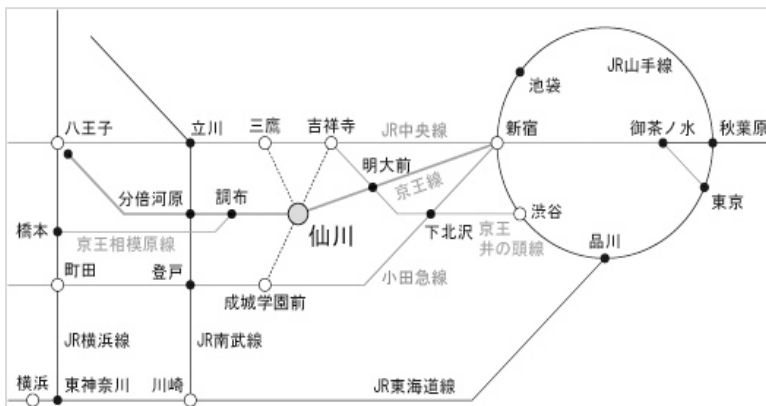
<https://www.jfc.go.jp/n/finance/search/ippan.html>

タイプ	防音ワンルーム型マンション
住戸面積	約21㎡(1住戸当り)
仕 様	ミニキッチン・バス・トイレ・エアコン・インターネットコネクション等各室完備
住 戸 数	115戸
入 居 費	月 額 78,000円
その他	7:00～23:00まで練習可能 入居時に諸経費として、50,000円が必要。光熱水費は自己負担。 ※経済情勢の変動等に応じて次年度以降の入居時の諸経費について改定があり得る

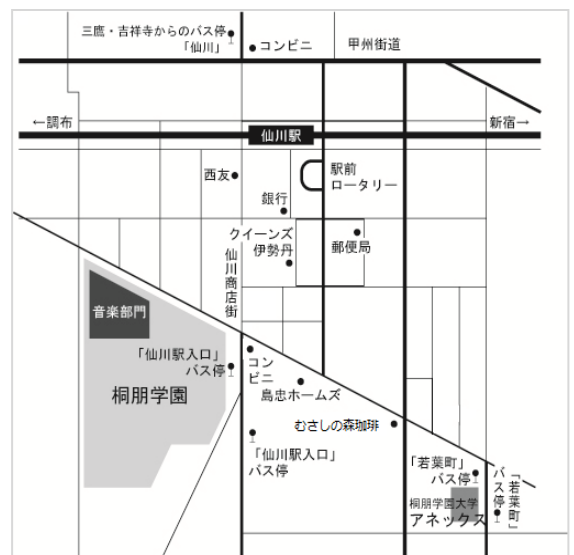
- (1) 募集人数は約30名。希望者多数の場合は抽選(大学生、ディプロマ・コース生を含む)。
- (2) 入居希望者は「学生会館入居願」(ダウンロードする書類)を入学試験志願票とともに提出する。
- (3) 入居の可否通知は、合格発表日後1週間以内に合格者宛に発送する。

交通機関案内図

■ 交通案内 <仙川駅－新宿駅より快速で約18分>



■ 駅から仙川キャンパスまでのアクセス
・京王線仙川駅より 徒歩5分



京王線以外のルート

＜仙川キャンパス＞

- 小田急線「成城学園前」駅発（バスの所要時間約15分）
小田急バス「狹江営業所」または「調布駅南口」行き
「仙川駅入口」バス停下車 徒歩1分
- JR中央線「吉祥寺」駅発（バスの所要時間約25分）
小田急バス「仙川」行き「仙川」バス停下車 徒歩6分
- JR中央線「三鷹」駅発（バスの所要時間約30分）
小田急バス「仙川」行き「仙川」バス停下車 徒歩6分